

平成 27 年度

# 全国学力・学習状況調査の 結果について



海老名市立有馬小学校

全国学力・学習状況調査について	P. 1
「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 2
「算数に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 3
「理科に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 4
「児童質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」	P. 5
ご家庭で取り組んでいただきたいこと	P. 6
(資料) 学習・生活習慣と学力との関係	P. 7



# 全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査(平成23年度は震災の関係で実施を中止)でしたが、平成25年度から再び全国すべての小中学校が対象となりました。なお、今年度実施された「理科」については、3年に一度実施されるものです。

## ◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## ◆ 調査の対象

国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒

- ・小学校第6学年
- ・中学校第3学年

## ◆ 調査内容

### (1) 教科に関する調査

#### 【小学校】

国語A・算数A (主として「知識」に関する問題)  
国語B・算数B (主として「活用」に関する問題)  
理科 (主として「知識」「活用」に関する問題)

#### 【中学校】

国語A・数学A (主として「知識」に関する問題)  
国語B・数学B (主として「活用」に関する問題)  
理科 (主として「知識」「活用」に関する問題)

「主として『知識』に関する問題」とは？  
これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？  
身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

- (2) 児童生徒に対する質問紙調査 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問
- (3) 学校に対する質問紙調査 指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

## ◆ 調査実施日

平成27年4月21日(火)



# 国語に関する調査結果

## 国語 A

(主として「知識」に関する問題)

### 《優れている所》

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読むことについては、正答率が高い。日ごろの漢字学習や家庭での読書経験が要因の一つと考えられる。
- 説明文を読み取り、どのような工夫がされているかを考える問題では、無解答がなく、比較的正確率も高い。これは、日頃の学習の中で、説明文を丁寧に読み取ったり、文章を書く際に推敲したりという経験の積み重ねが関係していると考えられる。

### 《努力を要する所》

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書くことについては、正答率が低く、努力を要する。
- 文の中における主語をとらえる力が不十分で、努力を要する。
- 新聞のコラムを読んで、表現の工夫をとらえることについて、正答率が極めて低い。これは、日頃の生活の中で、新聞記事を読むという経験が少なくなっていることが要因のひとつと考えられる。また、問題の意味を正しくとらえることに課題がある。

## 国語 B

(主として「活用」に関する問題)

### 《優れている所》

- 文章中から目的に応じて中心となる語や文をとらえることは比較的できている。
- 目的や意図に応じ、新聞の割り付けをしたり、記事に見出しをつけたりすることについては、正答率は高くないが無回答が少ない。問題が通常のテストと大差ない様式であり、選択式で適切なものを答えやすいためと考えられる。

### 《努力を要する所》

- 複雑な問題のテスト様式に慣れていないと考えられる。設問によっては、諦めてしまう傾向がみられる。
- 内容を整理しながら書く、要旨をまとめて書く、図を基にして条件に合わせて書くなどの「書く能力」が全般的に極めて低い。設けられている条件を満たして書くこと以前に、条件を理解すること、理由を明確にしながら自分の考えを持つことなどに課題があると考えられる。

## 今後の具体的な取組

- 日頃の授業で自分の考えを友達と伝え合う場を意図的に設定するように努める。
- 国語以外の教科においても、言語活動を充実させるように努める。
- 問われている内容を読み取る力を育てるため、読書の機会や量を増やす。
- 丁寧な漢字指導（字形に気をつけ）を継続して行っていく。



# 算数に関する調査結果

## 算数 A

(主として「知識」に関する問題)

### 《優れている所》

- 繰り上がりのある2位数の加法の計算を正しくすることができる。
- 異分母の分数の減法の計算を正しくすることができる。

### 《努力を要する所》

- 加法・減法を活用した複雑な計算をするに課題がある。
- 図形では、複雑な処理を必要とするものについては、解き方が身についていない。
- 問題を読んで難しそうだと感じたら、あきらめて解かない傾向が高い。

## 算数 B

(主として「活用」に関する問題)

### 《優れている所》

- 平行四辺形の性質を基に、平行四辺形を構成することができる辺の組み合わせを理解している。
- 単位量当たりの大きさを用いて目的に応じた方法を選択し計算できる。

### 《努力を要する所》

- なぜそうなるのかといった理由の記述することに課題がある。

## 今後の具体的な取組

- 基本的な計算を繰り返し練習させ、速く正確にできるようになることで自信をつけさせ、複雑な計算へも取り組めるようにする。
- 自分の考えをノートに書くことを日常的に取り入れ、書くことへの抵抗感を減らす。
- 文章の理解力を養うために、算数だけでなく各教科の学習や読書活動などを通して理解力や文章力を養っていく。



## 理科に関する調査結果

### 《優れている所》

- 顕微鏡の適切な操作方法や観察カードの記録の仕方など、観察・実験の技能に関する問題については、理解している。
- 星座の動きや水が水蒸気になる現象など、「地球」に関する問題は、よくできている。
- 電磁石の働きを利用した振り子が左右に等しく振れる導線の巻き方や、乾電池のつなぎ方についての問題は、比較的正答率が高い。

### 《努力を要する所》

- 生物の成長に必要な養分のとり方、メダカの雌雄の見分け方など、「生命」に関する問題の正答率が低い。
- 水の温まり方、水の温度と砂糖が水にとける量との関係など、「物質」に関する問題の正答率が低い。
- グラフから読み取る、条件を考えるなど、科学的な思考や表現に課題がある。
- 記述式の問題に課題がある。



### 今後の具体的な取組

- 実験や観察の後には、結果からどのようなことがいえるのかを考えさせる授業づくりに取り組む。
- ノート指導などを通して、言葉で表現する力を養っていく。

# 児童質問紙の結果より

## 学習について

## 生活について

数値は、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の回答率を足したものです。

### 《よかった所》

#### 学習習慣

学習意欲・関心が高い

- 「宿題をしている」  
・ 92%
- 「勉強は大切だと思う」  
・ 国語 92% 算数 84% 理科 86%
- 「授業の内容がよく分かる」  
・ 国語 90% 理科 90%
- 「将来、役に立つと思う」  
・ 国語 92% 算数 96%
- 「算数の問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いている」  
・ 82%
- 「自然の中で遊んだことや観察したことがある」  
・ 82%
- 「観察や実験を行うことは好き」  
・ 92%
- 「観察や実験の結果からわかったことを考えている」  
・ 80%

### 《課題と思われる所》

- 「友達の前で自分の考えや意見を発表するのが得意」  
・ 38%  
発表が苦手
- 「原稿用紙に2~3枚の感想文や説明文を書くことは難しい」  
・ 68%  
文章を書くことが苦手
- 「解答を書く問題について最後まで努力した」  
・ 国語 62% 算数 62%
- 「家で勉強をする」**家庭学習の方法に課題**  
・ 計画を立てて行う 48%  
・ 授業の予習をする 38%  
・ 授業の復習をする 32%  
・ 1日あたり60分未満 58%
- 「新聞を読んでいる」  
・ 12%  
新聞を読まない
- 「授業で分からないことがあったらどうするか」  
・ 先生に尋ねる（その場で26% 授業後に14%）  
先生に質問しにくい



### 《よかった所》

基本的な生活習慣が確立されている

#### 生活習慣

- 「朝食を毎日食べている」  
・ 94%
- 「毎日同じ時刻に起きている」  
・ 96%
- 「学校へ行くのは楽しい」  
・ 82%
- 「学校のきまりを守る」  
・ 88%  
規範意識・人との関わり  
規範意識が高く、人との関わりを大切にしている
- 「人の気持ちが分かる人間になりたい」  
・ 90%
- 「いじめはどんな理由があってもいけない」  
・ 96%
- 「人の役に立つ人間になりたい」  
・ 90%
- 「友達の話や意見を最後まで聞く」  
・ 92%

#### 家庭

家庭は、学校生活に関心が高い

- 「家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る」  
・ 98%

#### 地域・社会

地域行事に参加 社会のできごとに関心が高い

- 「地域の行事に参加している」  
・ 72%
- 「テレビやインターネットのニュースを見る」  
・ 88%

### 《課題と思われる所》

テレビやゲームの時間が長い

- 「1日あたりのテレビ視聴時間」  
・ 4時間以上 32% 3~4時間 14%
- 「1日あたりのテレビ等のゲーム時間」  
・ 2時間以上 44%
- 「自分にはよいところがあると思う」  
・ 68%  
自己肯定感がもう一歩

### 今後の具体的な取組

- 児童の豊かな心を育み、楽しく笑顔で学校生活が送れるよう、今後も学校全体で取り組む。「全職員が全担任」という意識を継続していく。心の教育、小中一貫教育、支援教育、ありまっ子応援団との連携・協力、家庭との連携・協力、地域環境の活用、異学年交流や他校種との交流等を推進する。
- 校内研究による授業研究を全職員で取り組み、授業改善につなげる。基礎的内容の定着を図るとともに指導法を工夫・改善して確かな学力の向上をめざす。
- 地域の教育力を生かした体験学習により児童の生きる力を培う。

# ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成27年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい6つの項目」をまとめました。できることから、ぜひ、始めてみてください。

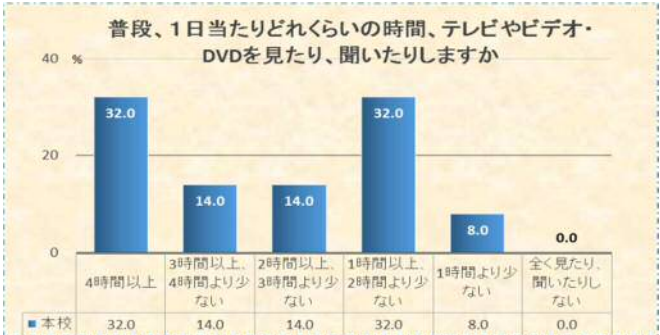
## 1 「早寝、早起き、朝ごはん」を続けていきましょう。

基本的な生活習慣を身につけていることは、学習面に良い影響を与えています。朝ごはんを毎日食べることは、授業に集中して取り組み、望ましい人間関係を築いていくことにもつながります。



## 2 テレビやゲームの時間を減らしましょう。

お子さんとよく話し合い、テレビを見たりゲームをしたりする時間や約束を決めるなどして、時間を有効に使いましょう。また、日常生活の中で本を読むひと時を作ることにより、文字に親しみ、思考力や想像力を伸ばしていきましょう。



## 3 家庭学習を継続し、さらに内容の充実した学習を積み重ねていきましょう。

学習内容の定着を図るためには、家庭における学習も必要です。基礎基本の力を身につけていけるように粘り強く取り組むための見守りや励ましを今後も続けていきましょう。



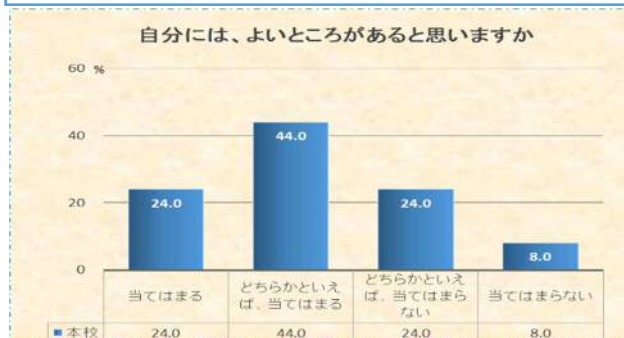
## 4 豊かな言葉や対話を大切にしましょう。

普段の生活の中で、お子さんとゆっくりと向き合い話ができるひと時を持ちたいものです。学校であったことなど、耳を傾けてあげてください。豊かな言葉と温かい心を育みます。家庭における対話を大切にしていきましょう。



## 5 自分のよさに気づき、自信がもてるような言葉がけをしましょう。

「3つほめて1つ叱る」など、お子さんの良い所を見逃さずほめ、お子さんを認める言葉を積極的にかけていきましょう。



## 6 人の気持ちを思いやることのできる豊かな感性を育てていきましょう。

ゆったりとした時間、ほっとする居場所を持つことは、心の安定を図ることにつながっていくことでしょう。





文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

### 児童・生徒の学習・生活習慣と学力との関係

次のような児童・生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。  
(教科に関する調査、児童・生徒質問紙調査より)

#### 【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数、理科に対する関心・意欲・態度が高い

#### 【学校生活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

#### 【基本的生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

#### 【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

#### 【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて勉強をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

#### 【家庭でのコミュニケーション】

- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家の人には、授業参観や運動会などの学校行事に来る

#### 【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

#### 【メディアとの関係】

- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い



平成27年11月